



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	28,138	△2.1	△419	—	△384	—	△453	—
24年3月期第3四半期	28,756	△1.1	△204	—	△140	—	△415	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △406百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △411百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△23.12	—
24年3月期第3四半期	△21.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	19,149	7,160	37.4	365.41
24年3月期	20,030	7,567	37.8	386.08

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,160百万円 24年3月期 7,567百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期	—	0.00	—	—	—

(注) 平成25年3月末の配当につきましては、未定であります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,200	0.5	△20	—	50	—	20	—	1.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	20,102,000 株	24年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	506,655 株	24年3月期	501,880 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	19,598,080 株	24年3月期3Q	19,603,713 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調が見られたものの、長引くデフレに加え、円高の長期化、欧州の債務問題や新興国の成長鈍化など、世界的な景気の減速懸念が強まり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。一方、年末には新政権が誕生し、その経済対策への期待感から円安・株高に転じ、景気回復の期待が高まっております。

このような状況の中で当社グループは、①IT技術を駆使して効率化を推進するとともに、量から質へ、売上指方向から利益指向への転換を進め、高付加価値低コスト経営の会社に変革すること、②自社品を拡充し、メーカーポジションを確立すること、③効率的・機能的流通業態「FIMA（流通統合管理機構）」を確立することを基本方針とし、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,138百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失は419百万円（前年同期は営業損失204百万円）、経常損失は384百万円（前年同期は経常損失140百万円）、四半期純損失は453百万円（前年同期は四半期純損失415百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、景気の先行き不透明な状況のもと、個人消費の低迷に加え、デフレ環境下での販売競争は一段と激化するなど、厳しい経営環境が続いております。このような状況の中で、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、MD力・提案力の強化を図りました。その結果、サッカー用品、テニス・パドミントン用品、バスケットボール用品、卓球用品は堅調に推移したものの、野球・ソフト用品や競技ウェアは低調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、トレンドの変化や天候不順等の影響があったものの、スポーツアパレル、フットウェア、アウトドア用品は堅調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、消費者の健康志向は引き続き高いものの、コンプレッションウェアにおいては、競合商品との販売競争は一段と激化し、流通の変化等もあり苦戦が続き、また、健康シューズにおいては、スイス本社の倒産の影響を受け、商品供給に問題が生じ低調に推移いたしました。

この結果、売上高は25,988百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、商品企画、開発力、品質管理を強化し、メーカーポジションの確立に努めたものの、野球・ソフト用品は卸売部門と同様に苦戦を強いられました。「コンバース」ブランドのバスケットボールウェアは、昇華プリントのゲームウェアや機能ソックスが引き続き堅調に推移したものの、スポーツバッグは引き続き苦戦が続き、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は442百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、個人消費の低迷やトレンドの変化に加え、消費者の購買スタイルの多様化により、アパレル・フットウェアは苦戦を強いられ、(株)すば一つらんどコジマ静岡店を閉店したこともあり、低調に推移いたしました。アウトドア市場は、「山ガール」と呼ばれる20代～30代の女性層は確実に増加傾向にあり、引き続き登山人気も高く拡大基調で推移いたしました。前年の震災特需の反動や高額商品の販売が低調に推移したこと等により、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は583百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

#### (その他)

物流部門は、外部の受託業務を拡大し、作業効率の改善に努め、小口多頻度出荷や流通加工の増加によるコストアップをカバーし、堅調に推移いたしました。スポーツ施設運営は、ユーザー満足度を高めるため、新サービスの強化や販売促進活動を強化しましたが、会員増に繋がらず、また、ゴルフ練習場への来場者の減少等により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,123百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ881百万円減少し、19,149百万円となりました。これは主に、現金及び預金が25百万円、商品及び製品が664百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,532百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ474百万円減少し、11,988百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が164百万円増加したものの、短期借入金が133百万円、長期借入金が216百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ406百万円減少し、7,160百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が453百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表しました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,197	2,222
受取手形及び売掛金	9,040	7,507
商品及び製品	2,737	3,402
仕掛品	57	91
原材料及び貯蔵品	80	78
繰延税金資産	98	48
その他	163	197
貸倒引当金	△22	△16
流動資産合計	14,354	13,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,216	4,157
減価償却累計額	△2,875	△2,870
建物及び構築物（純額）	1,341	1,286
土地	2,443	2,443
その他	1,333	1,329
減価償却累計額	△1,065	△1,136
その他（純額）	268	192
有形固定資産合計	4,053	3,923
無形固定資産		
その他	56	64
無形固定資産合計	56	64
投資その他の資産		
投資有価証券	812	887
長期貸付金	54	48
敷金	323	306
その他	477	484
貸倒引当金	△101	△97
投資その他の資産合計	1,567	1,629
固定資産合計	5,676	5,617
資産合計	20,030	19,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,255	8,420
短期借入金	1,150	1,017
未払法人税等	27	16
未払消費税等	78	12
賞与引当金	186	99
その他	674	541
流動負債合計	10,373	10,108
固定負債		
長期借入金	421	204
繰延税金負債	144	173
退職給付引当金	322	336
長期未払金	321	311
その他	879	854
固定負債合計	2,089	1,880
負債合計	12,463	11,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,397	2,944
自己株式	△71	△71
株主資本合計	7,300	6,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	312
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2	0
その他の包括利益累計額合計	267	313
少数株主持分	—	—
純資産合計	7,567	7,160
負債純資産合計	20,030	19,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	28,756	28,138
売上原価	22,889	22,513
売上総利益	5,867	5,624
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	543	523
運賃及び荷造費	456	457
賃借料	283	260
役員報酬及び給料手当	2,324	2,340
貸倒引当金繰入額	4	△5
賞与引当金繰入額	129	94
減価償却費	137	145
その他	2,192	2,227
販売費及び一般管理費合計	6,072	6,043
営業損失(△)	△204	△419
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	14	15
受取賃貸料	15	14
業務受託料	12	15
その他	60	28
営業外収益合計	103	75
営業外費用		
支払利息	10	11
売上割引	27	27
その他	0	2
営業外費用合計	38	40
経常損失(△)	△140	△384
特別損失		
品質保証対応損失	57	—
特別損失合計	57	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△197	△384
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	201	52
法人税等合計	218	68
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△415	△453
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△415	△453

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△415	△453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	44
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	0	2
その他の包括利益合計	4	46
四半期包括利益	△411	△406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△411	△406
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。